



株式会社エイチーム

決算説明資料 2017年7月期 Q3

2017年6月9日

Index

1. FY2017通期業績予想及び配当予想の修正
 2. FY2017 Q3 連結決算概要
 3. FY2017 Q3 セグメント別事業詳説
 4. FY2017 Q4 進捗
 5. 中長期的な展望
-
- APPENDIX A : 会社概要
 - APPENDIX B : 主な経営指標

1. FY2017通期業績予想及び 配当予想修正のお知らせ

2. FY2017 Q3 連結決算概要
3. FY2017 Q3 セグメント別事業詳説
4. FY2017 Q4 進捗
5. 中長期的な展望

FY2017通期連結業績予想の修正

売上上振れ要因：エンタメほぼ想定通り、ライフ大幅上振れ、ECやや上振れ

- ライフのサブセグメント事業では、引越し・自動車・金融メディアが上振れ

利益上振れ要因：エンタメ大幅上振れ、ライフ上振れ、共通部門費用未消化あり

- エンタメ大幅上振れの内訳は、新規タイトルにおいて期初計画とのずれがあったものの、ユニゾン等既存タイトルの上振れに加え、一部費用未消化により、トータルで大幅に上振れ

(単位：百万円)

	FY2016	FY2017 (2016.08-2017.07)				
	通期実績	通期従来予想	通期修正予想	増減額	増減率	構成比
売上高	22,967	32,000	34,000	+2,000	6.3%	100.0%
エンターテインメント事業	12,559	19,000	19,100	+100	0.5%	56.2%
ライフスタイルサポート事業	9,193	11,200	13,000	+1,800	16.1%	38.2%
EC事業	1,214	1,800	1,900	+100	5.6%	5.6%
営業利益	2,212	3,300	3,800	+500	15.2%	11.2%
経常利益	2,094	3,250	3,830	+580	17.8%	11.3%
当期純利益	1,292	2,150	2,500	+350	16.3%	7.4%

※ FY2017 (2016年8月1日) より、自転車ECを単独セグメント化し、当事業セグメントは「エンターテインメント事業」、「ライフスタイルサポート事業」、「EC事業」3つになりました

FY2017 Q4と通期見通しに関する留意点

全社

Q4はQ/Qで減収減益となる見通し

- ビジネスの特性上、季節要因の影響により、トレンドとしてQ3がピーク

エンターテインメント

不確定要素が多く、売上・利益ともに変動する可能性あり

- 既存タイトルは、ヴァルキリーコネクトを中心に、海外展開強化やイベント開催状況によって変動する可能性あり
- 放課後ガールズライブの広告投資規模次第では利益が下振れとなる可能性あり

ライフスタイルサポート

繁忙期需要からの反動減により、Q/Qで収益が減少する見通し

- 引越し関連、自動車関連：繁忙期需要からの反動減により、Q4は収益が減少する見通し
- 足元の進捗を踏まえ、例年のトレンドを勘案し、可能な範囲内で合理的に修正予想を算定

EC

繁忙期需要からの反動減により、Q/Qで売上が減少する見通し

- Q4は、繁忙期需要からの反動減により、売上が減少する見通し
- 足元の進捗を踏まえ、季節要因の影響を勘案し、可能な範囲内で合理的に修正予想を算定

FY2017期末配当予想の修正

通期業績予想修正に伴い、配当性向20%前後を目処に、期末配当予想を修正

今後も業績を勘案しつつ、配当性向20%前後の株主還元を予定

	FY2015 実績		FY2016 実績		FY2017予想	
	中間	期末	中間	期末	中間	期末
基準日	2015/01/31	2015/07/31	2016/01/31	2016/07/31	2017/01/31	2017/07/31
配当実施日	2015/04/03	2015/10/13	2016/04/04	2016/10/07	2017/04/04	2017年10月 (予定)
1株当たり 配当金	5円 00銭	7円 50銭	5円 00銭	7円 50銭	5円 00銭	22円 00銭
配当総額	238百万円		239百万円		517百万円 (予定)	
(通期) 配当性向	17.7%		18.2%		20%前後 (予定)	

※当社は平成27年5月1日を効力発生日として、普通株式1株につき、2株の割合をもって分割いたしました。そのため、FY2015の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり配当金額を算定しております。従いまして、FY2015の1株当たりの配当金額は過去に当社が発表した数値と異なります

2. FY2017 Q3 連結決算概要

- 3. FY2017 Q3 セグメント別事業詳説
- 4. FY2017 Q4 進捗
- 5. 中長期的な展望

FY2017 Q3 会計期間決算サマリー (2017.02-2017.04)

全社

Y/Y、Q/Qともに大幅増収増益、過去最高の売上・利益を達成

- 売上高 : 9,906百万円 (Y/Y 160.3%、Q/Q 121.6%)
- 営業利益 : 1,748百万円 (Y/Y 218.9%、Q/Q 239.7%)
- 当期純利益 : 1,162百万円 (Y/Y 242.2%、Q/Q 216.1%)

※親会社株主に帰属する当期純利益 (本頁以降同様)

エンターテインメント

Y/Y、Q/Qともに増収増益、過去最高の売上・利益を達成

- セグメント売上 : 5,200百万円 (Y/Y 162.7%、Q/Q 106.4%)
- セグメント利益 : 1,440百万円 (Y/Y 239.6%、Q/Q 178.4%)

ヴァルキリーコネクトとユニゾンリーグが国内外ともに好調。効率運用により利益が大幅に増加

売上高構成比

51.7%

ライフスタイルサポート

Y/Y、Q/Qともに増収増益、過去最高の売上・利益を達成

- セグメント売上 : 3,990百万円 (Y/Y 156.5%、Q/Q 135.2%)
- セグメント利益 : 715百万円 (Y/Y 129.2%、Q/Q 219.0%)

繁忙期における需要増に加え、効率運用により各サブセグメント事業が総じて好調

売上高構成比

41.3%

EC

Y/Y、Q/Qともに増収、過去最高の売上を達成

- セグメント売上 : 715百万円 (Y/Y 165.8%、Q/Q 232.0%)
- セグメント利益 : -65百万円 (Y/Y -、Q/Q -)

繁忙期における需要増に加え、オペレーションの向上により販売台数が大幅に増加

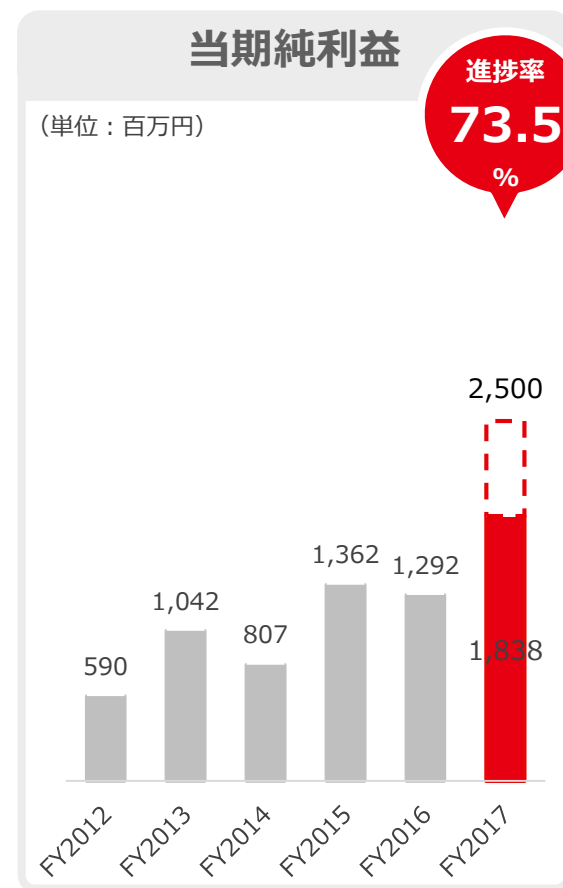
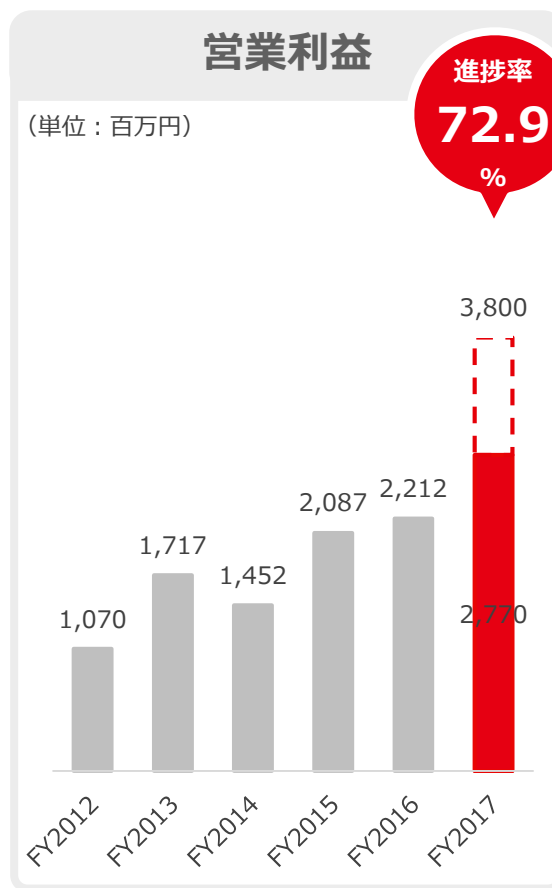
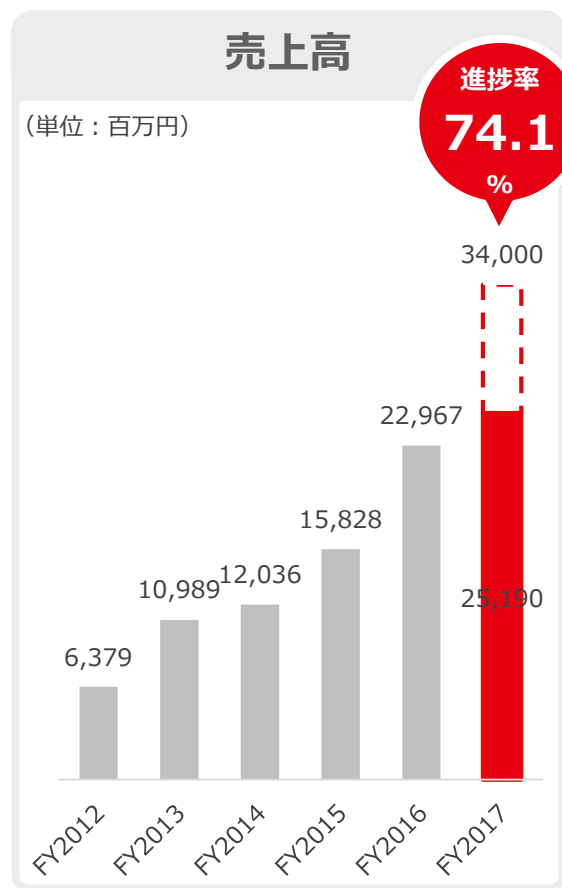
売上高構成比

7.0%

連結売上高・利益の推移及びFY2017修正予想に対する進捗率

(参考) 従来予想及び対従来予想の進捗率

- 売上高 : 320億円、進捗率 : 78.7%
- 営業利益 : 33億円、進捗率 : 84.0%
- 当期純利益 : 21.5億円、進捗率 : 85.5%



FY2017 Q3累計期間及び会計期間業績概要

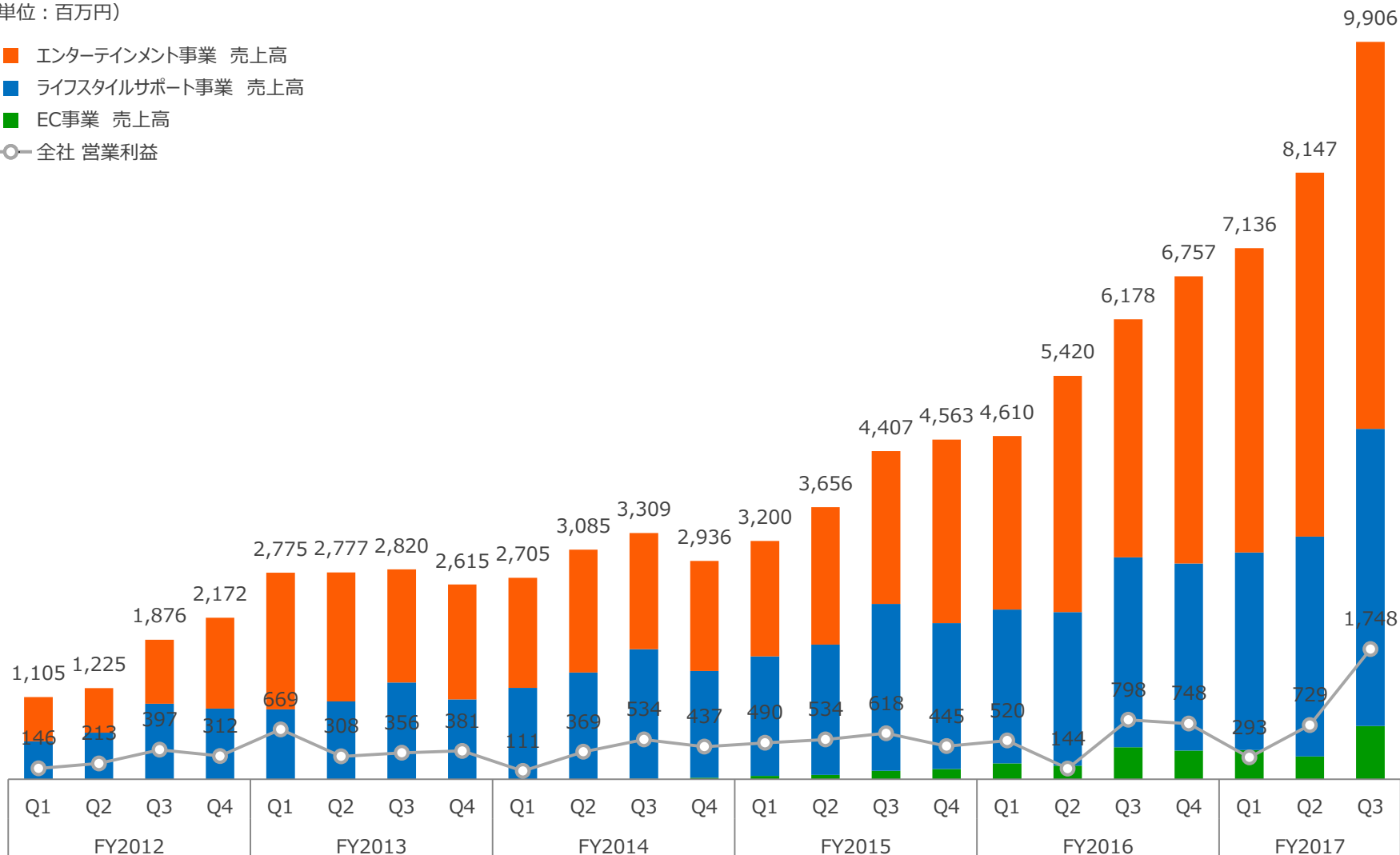
(単位：百万円)

FY2017 Q3 累計期間 (9ヵ月) (2016.08 – 2017.04)					FY2017 Q3 会計期間 (3ヵ月) (2017.02 – 2017.04)					
	FY2017		FY2016	Y/Y	FY2017		FY2016	Y/Y	FY2017	Q/Q
	Q3累計	%	Q3累計		Q3	%	Q3		Q2	
売上高	25,190	100.0%	16,210	155.4%	9,906	100.0%	6,178	160.3%	8,147	121.6%
営業利益	2,770	11.0%	1,464	189.2%	1,748	17.6%	798	218.9%	729	239.7%
経常利益	2,809	11.2%	1,358	206.9%	1,738	17.5%	751	231.2%	778	223.3%
当期 純利益	1,838	7.3%	788	233.2%	1,162	11.7%	479	242.2%	537	216.1%

連結四半期売上高・営業利益の推移

(単位：百万円)

- エンターテインメント事業 売上高
- ライフスタイルサポート事業 売上高
- EC事業 売上高
- 全社 営業利益



※ ライフスタイルサポート事業の季節要因（引越し、自転車EC事業の繁忙期2-4月、自動車関連事業の繁忙期12-翌2月）により、例年Q3（2-4月）がピーク

主な経営指標の四半期推移

(単位：百万円)

	FY2014		FY2015				FY2016				FY2017		
	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3
売上高	3,309	2,936	3,200	3,656	4,407	4,563	4,610	5,420	6,178	6,757	7,136	8,147	9,906
営業利益	534	437	490	534	618	445	520	144	798	748	293	729	1,748
広告宣伝費	1,213	912	1,132	1,439	1,903	1,955	1,817	2,326	2,433	2,758	3,432	3,551	3,623
人件費 採用費	649	691	684	682	695	736	745	805	814	884	872	935	931
キャリア手数料 支払手数料	461	484	484	559	671	869	841	1,171	1,177	1,401	1,468	1,779	2,051
外注費 サーバー費	153	159	162	190	197	235	257	267	275	235	254	297	315
オフィス賃料	108	100	110	105	105	111	138	235	177	177	178	218	238
期末人員数 (人)	538	541	531	533	533	530	548	559	574	583	605	627	710

※ 四半期末人員数には本体及び国内外グループ会社の役員（本社社員に属さない子会社役員を含む）、正社員、契約社員、派遣社員及びアルバイトを含む

※ アルバイト・派遣の人員数は四半期平均雇用人数（1日8時間換算）

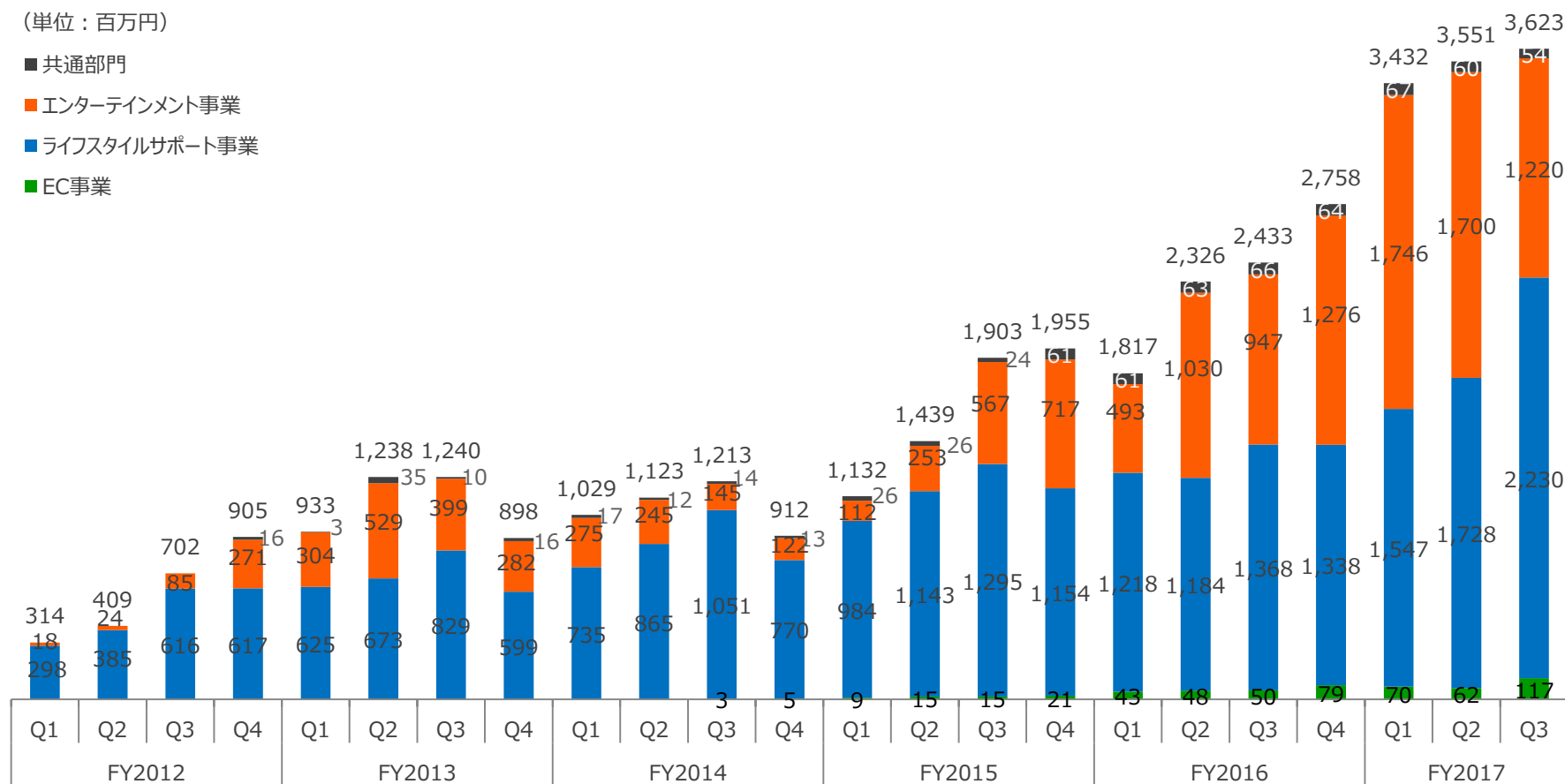
セグメント別広告宣伝費の四半期推移

エンタメ：ユニゾン、ヴァルコネの広告投資が一巡し、効率運用を進め、減少

ライフ&EC：繁忙期につき、増加

(単位：百万円)

- 共通部門
- エンターテインメント事業
- ライフスタイルサポート事業
- EC事業



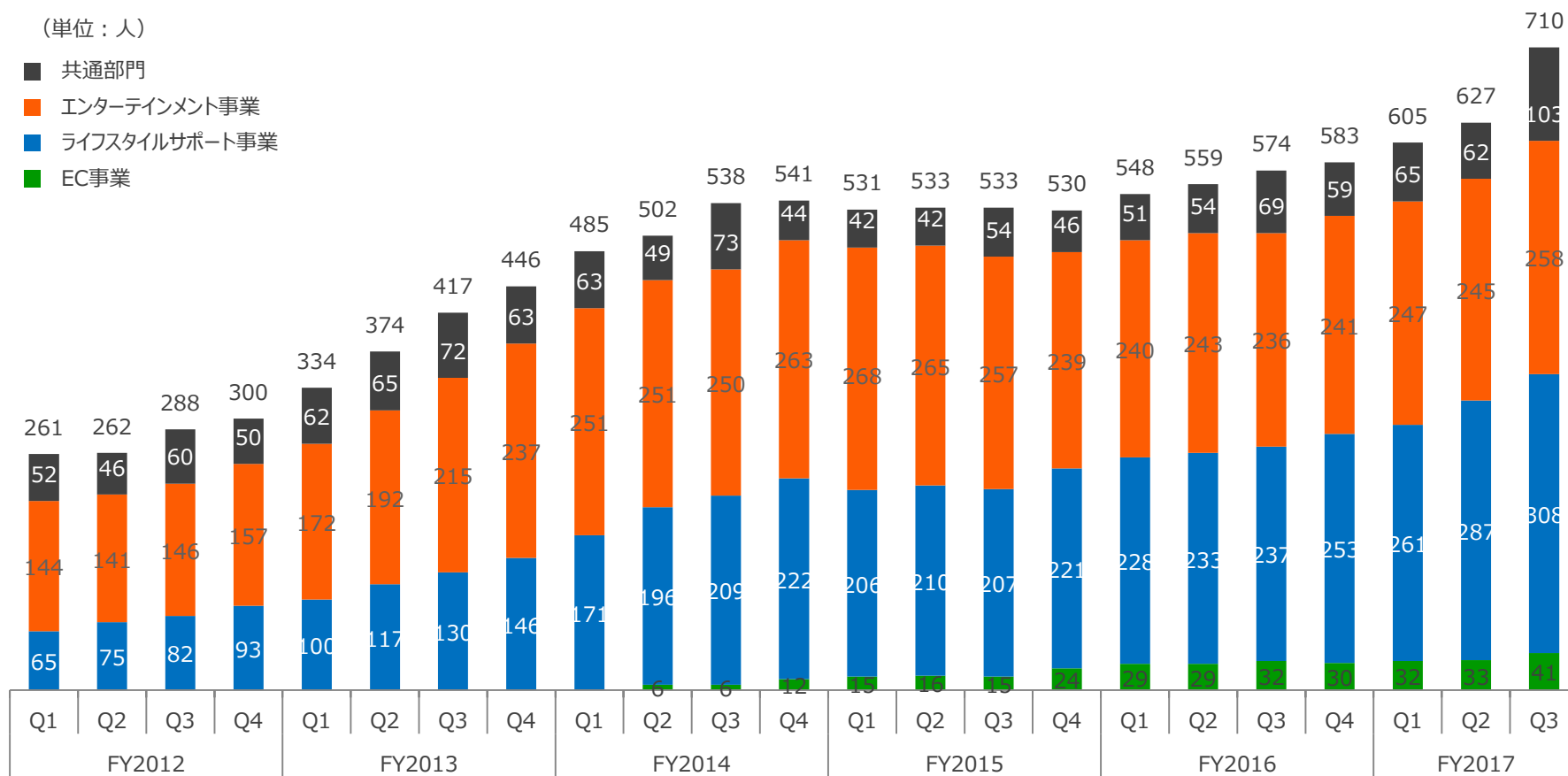
セグメント別人員数の四半期推移

4月に新卒35名が入社、中途採用も順調

- 新卒35名は共通部門に計上、6/1付けで各事業へ配属

(単位：人)

- 共通部門
- インターテインメント事業
- ライフスタイルサポート事業
- EC事業



※ 四半期末人員数には本体及び国内外グループ会社の役員（本社社員に属さない子会社役員を含む）、正社員、契約社員、派遣社員及びアルバイトを含む
 ※ アルバイト・派遣の人員数は四半期平均雇用人数（1日8時間換算）

貸借対照表

利益剰余金により、純資産が増加

(単位：百万円)

	FY2017 Q3	FY2017 Q2
流動資産	9,333	7,636
現預金	4,415	3,508
売掛金	3,897	3,300
固定資産	2,806	2,827
有形固定資産	1,203	1,249
無形固定資産 (ソフトウェア)	793	785
資産合計	12,139	10,464

	FY2017 Q3	FY2017 Q2
流動負債	5,030	4,423
固定負債	389	389
負債合計	5,420	4,812
有利子負債	828	924
株主資本	6,619	5,550
純資産合計	6,718	5,651
負債純資産合計	12,139	10,464

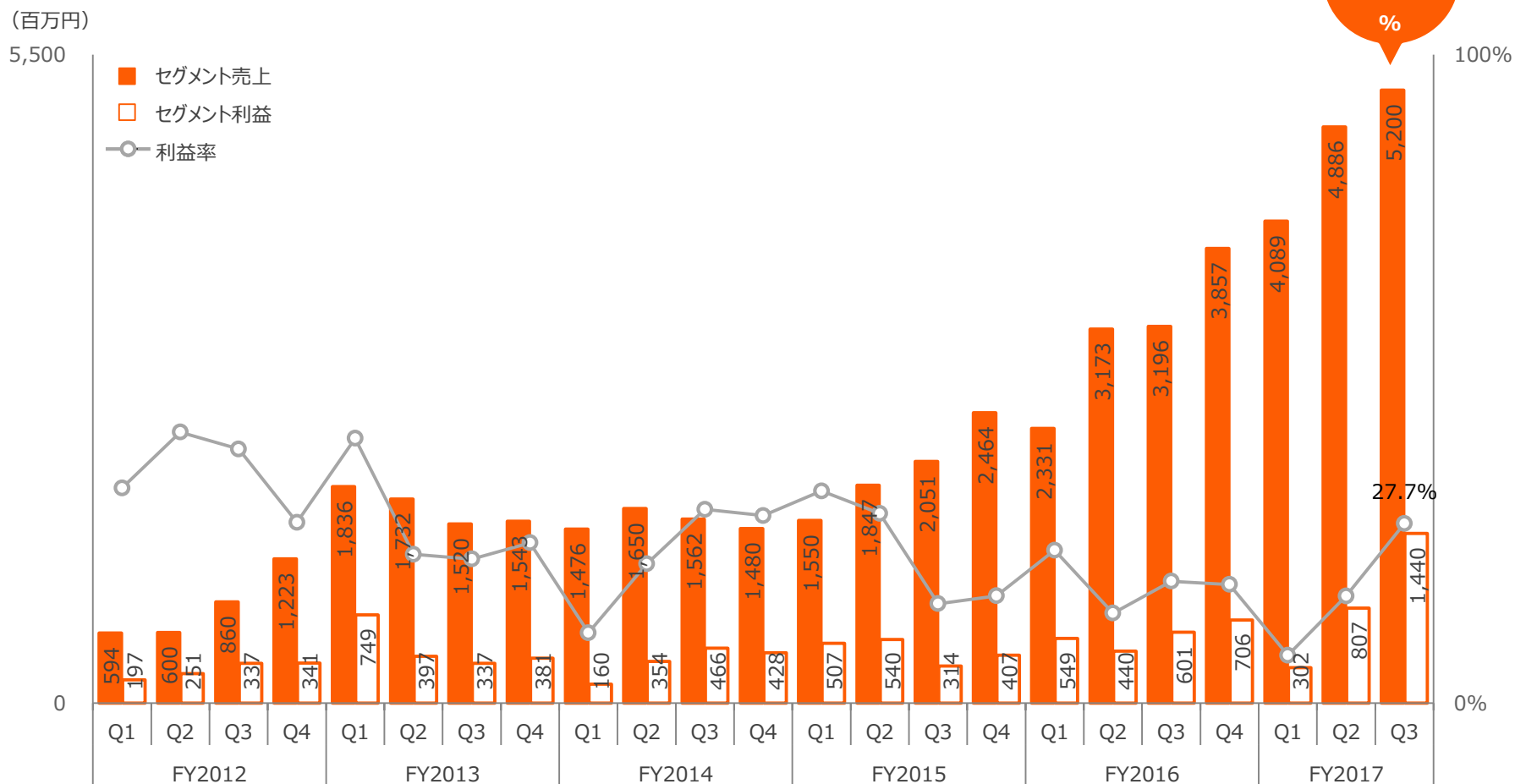
3. FY2017 Q3 セグメント別事業詳説

- 4. FY2017 Q4 進捗
- 5. 中長期的な展望

エンターテインメント事業 四半期売上高・営業利益の推移

ユニゾン、ヴァルコネが国内外ともに好調、過去最高のセグメント売上を達成

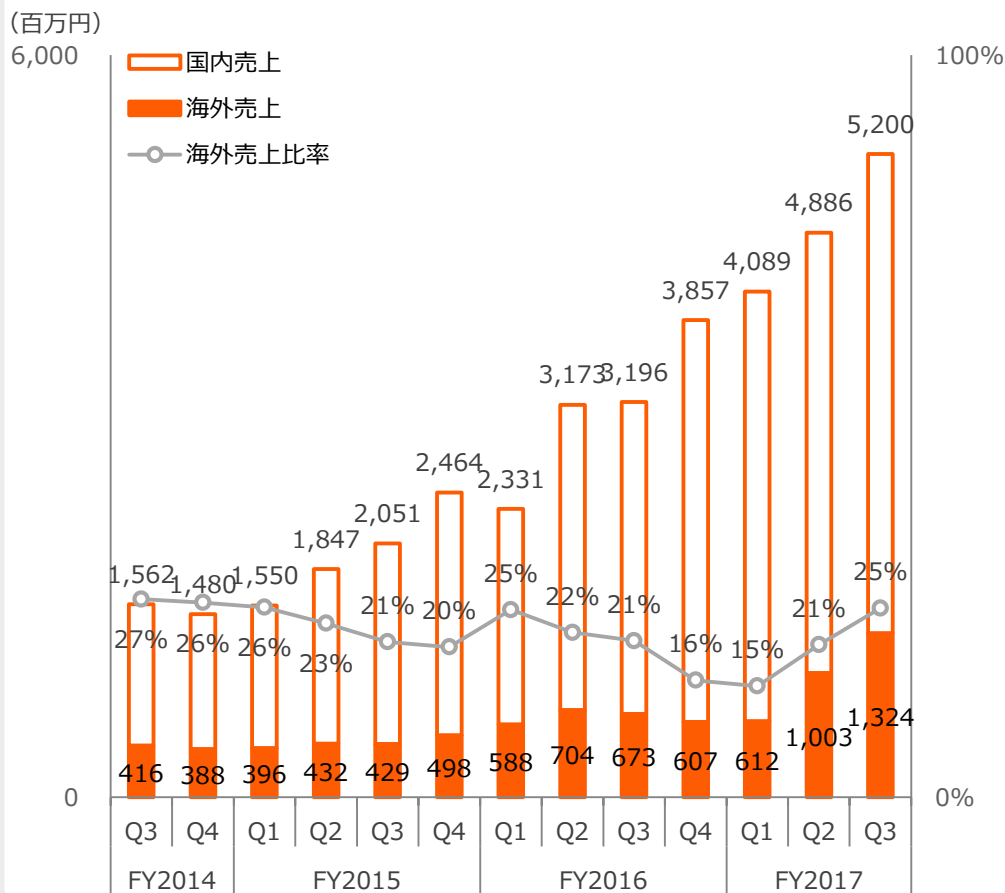
全体の運用効率向上により、セグメント利益も過去最高



エンターテインメント事業 海外売上比率の四半期推移

海外売上比率

海外比率が上昇、海外売上が過去最高



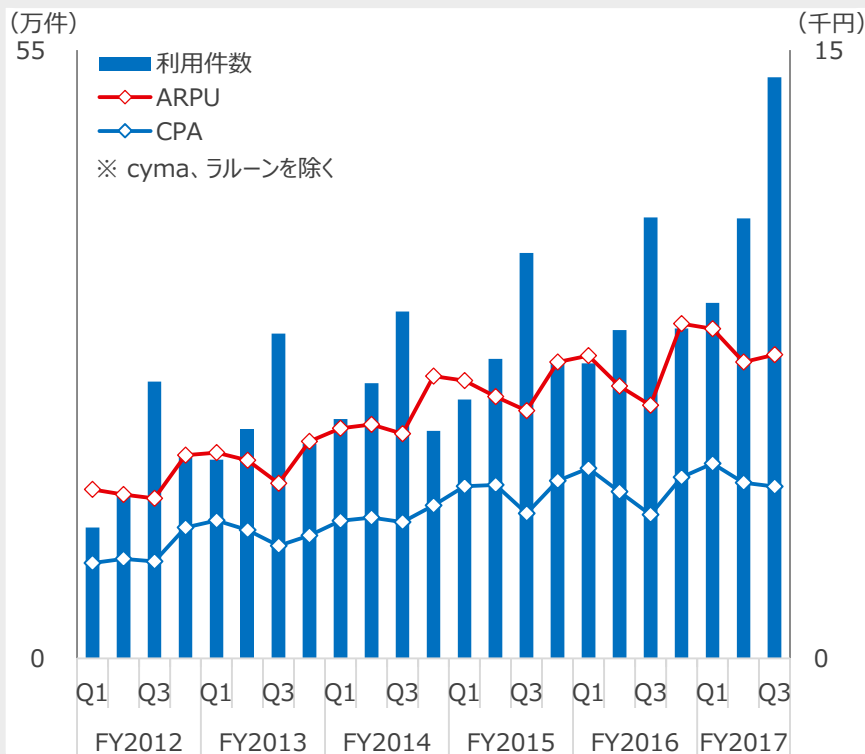
配信国・地域	日本	北米	ヨーロッパ圏	台湾/香港等	韓国	東南アジア圏
ガルトラ	●					
ヴァルコネ	●	●	●	●	●	●
ユニゾン	●	●	●	●	●	●
ダビパク	●			●		●
さんすま	●			●		
レギオン	●	英語版				
サマナー	●	英語版				

ライフスタイルサポート事業 主なKPIの四半期推移

利用件数・ARPU・CPA

利用件数がY/Yで大幅に増加

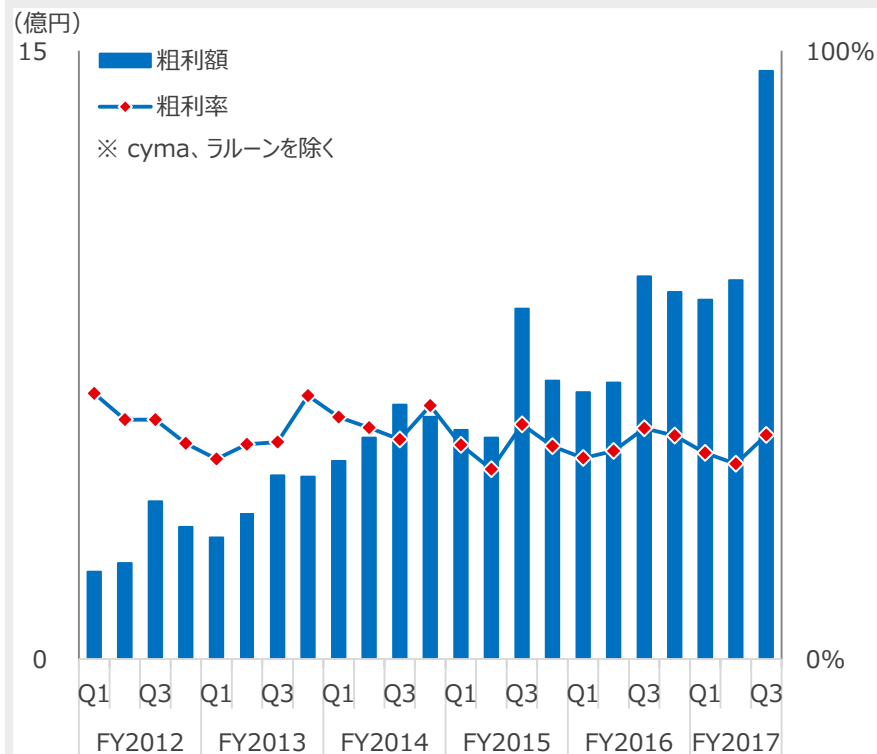
ARPU、CPAは概ね例年と同様なトレンドで推移



粗利額・粗利率

粗利額がY/Yで大幅に増加

粗利率は30強～40%弱の水準で安定推移



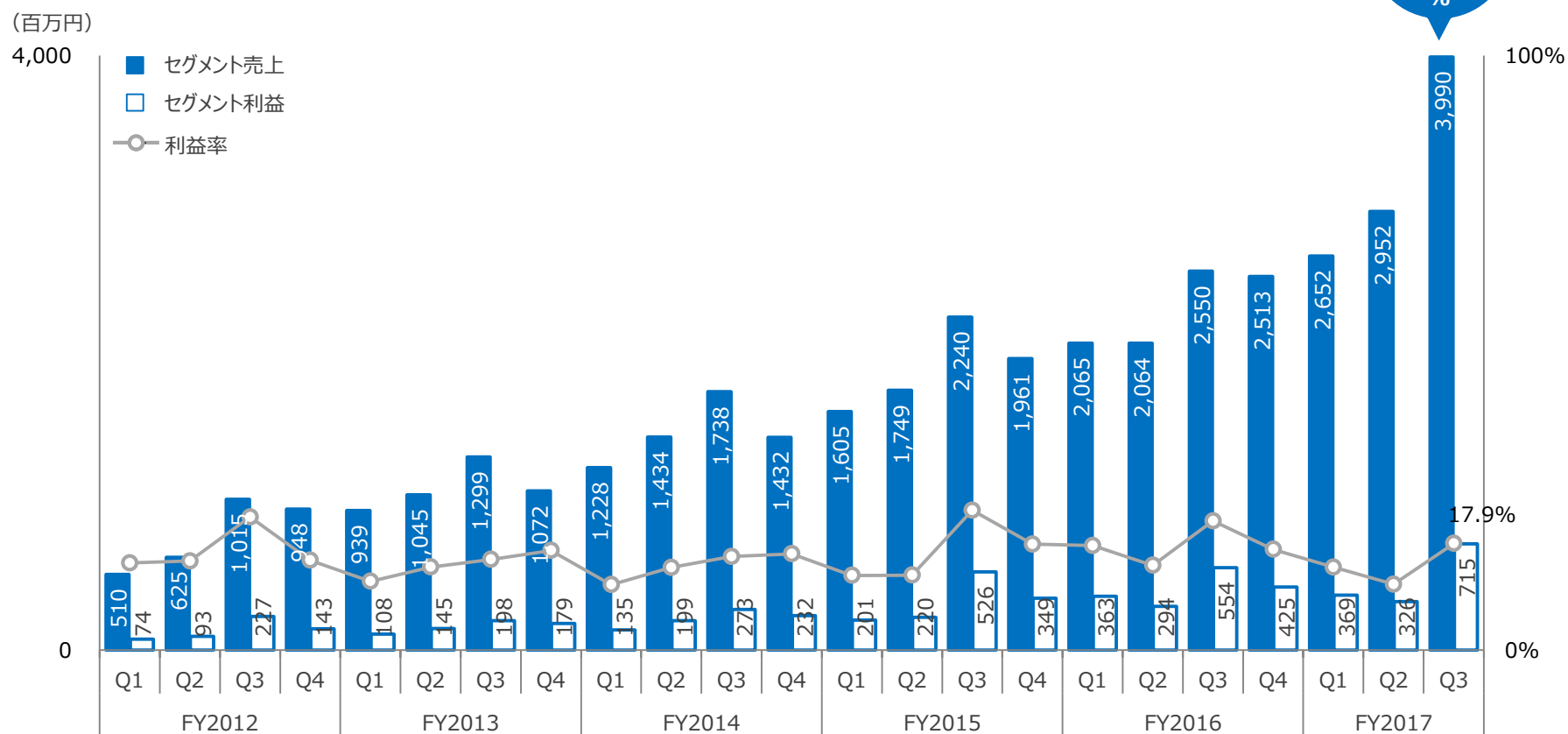
- 【①利用件数】= 主要4事業の利用件数 (各サービスの利用件数のうち、売上が発生した件数) の合計 (※同一利用者が複数サービスを利用した場合、獲得コスト発生ベース)
- 【②ARPU: 利用者1人/組あたりの売上高】= セグメント売上 ÷ 【①利用件数】
- 【③CPA: 顧客獲得1人あたりの広告単価】= 広告宣伝費 ÷ 【①利用者数】

- 【④粗利額】= セグメント売上 - (広告宣伝費 + 仕入原価)
- 【⑤粗利率】= 【④粗利額】 ÷ セグメント売上
- ※ 仕入原価等はGross計上分 (エアコン仕入原価、エアコン工事委託費、ハナユメ定額ウェディング原価、プライダルリング仕入原価、ハナユメフォト仕入原価) が対象

ライフスタイルサポート事業 四半期売上高・営業利益の推移

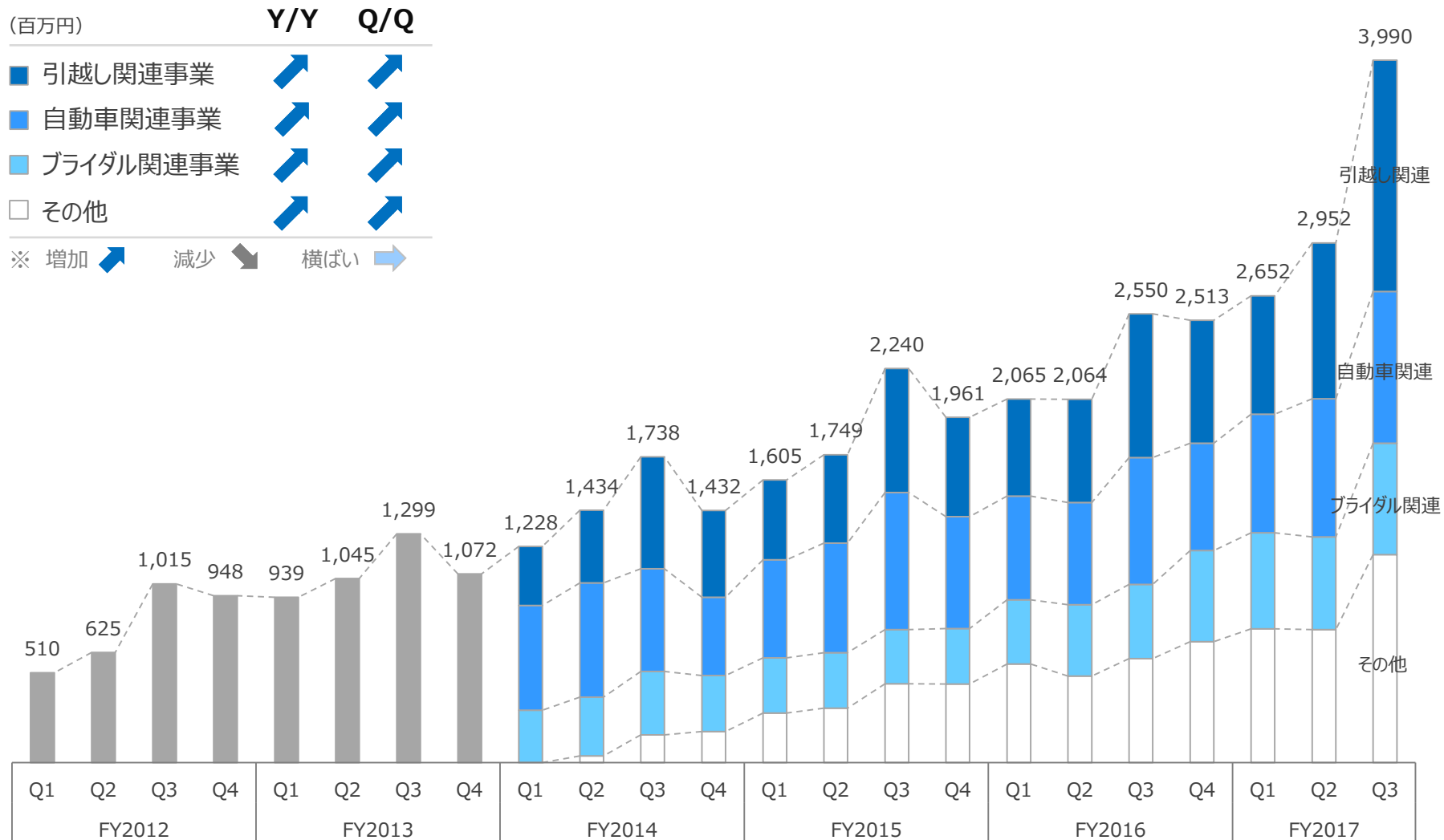
サブセグメント事業が総じて好調、過去最高のセグメント売上を達成

売上成長に伴い、セグメント利益も過去最高



※ FY2017（2016年8月1日）より、自転車ECを単独セグメント化し、当社事業セグメントは「エンターテインメント事業」、「ライフスタイルサポート事業」、「EC事業」3つになりました
 ※ 本チャートでは、新セグメント区分に基づき、従来の「ライフスタイルサポート事業」から同資料17頁のEC事業の売上・利益を除いた数値を記載しています

ライフスタイルサポート事業 サブセグメント別四半期詳説



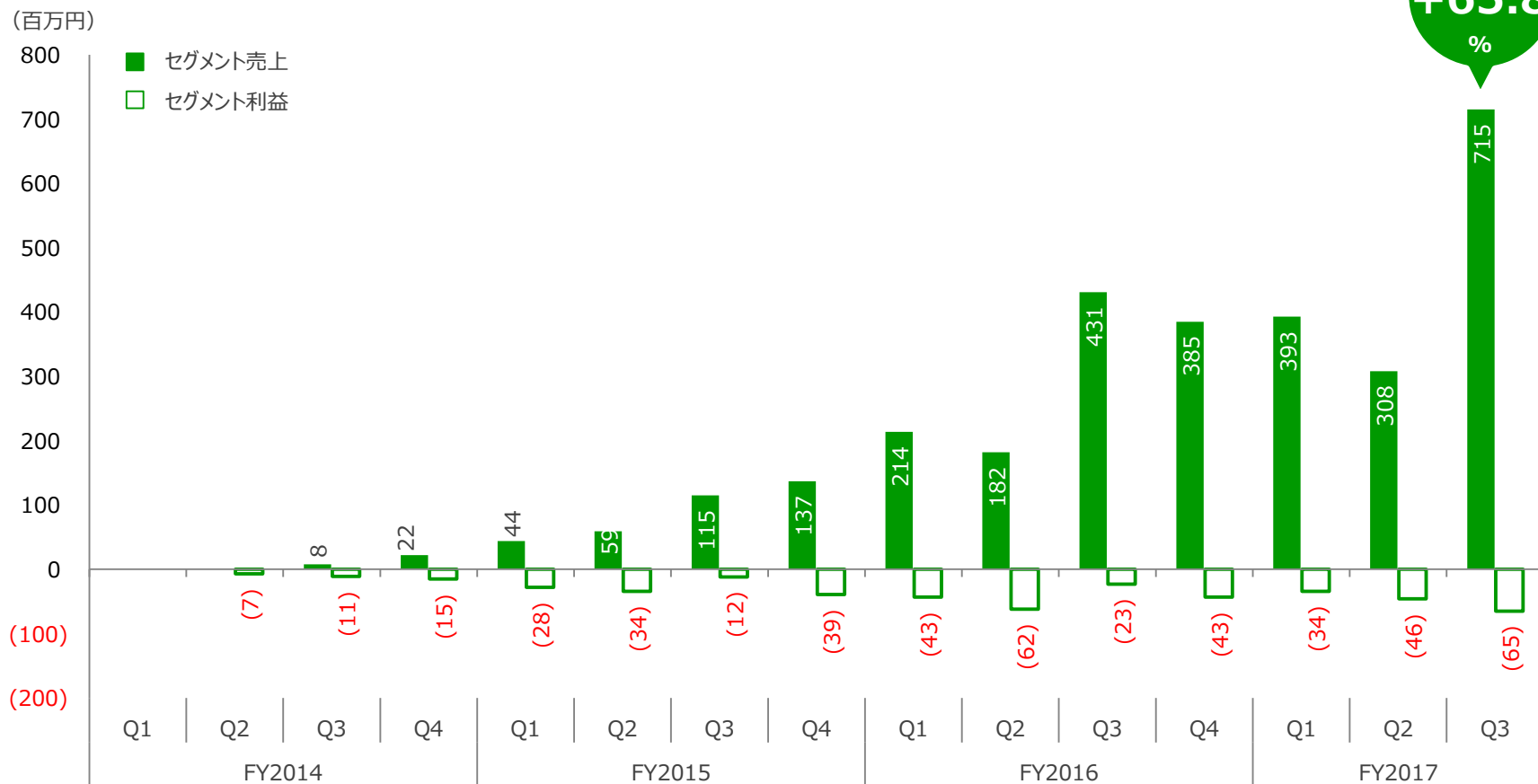
※ FY2012及びFY2013のサブセグメントの内訳は開示いたしておりません。FY2012及びFY2013の売上高は、引越し関連、自動車関連、プライダル関連事業により構成されています

※ EC事業はセグメント変更に伴い、本チャートから切り出し、次頁にてその推移を記載しております

EC事業 四半期売上高・営業利益の推移

フルフィルメントの強化により、Y/Yで大幅に増収、過去最高のセグメント売上を達成

事業の成長に加え、Q/Qでは繁忙期における需要増により、大幅に増収



※ FY2017 (2016年8月1日) より、自転車ECを単独セグメント化し、当社事業セグメントは「エンターテインメント事業」、「ライフスタイルサポート事業」、「EC事業」3つになりました

※ EC事業の自転車通販サイト「cyma -サイマ-」は2013年12月よりサービスを開始しております。繁忙期：3-4月 (Q3)

4. FY2017 Q4 進捗

5. 中長期的な展望

セグメント別トピックス

全社

- 本社オフィス増床及び大阪オフィス拡張移転を実施

エンターテインメント

- 放課後ガールズライブ ▶ 6/7ニコニコ生放送「ガルトラTV特番」にて大型アップデートを先行公開
- ヴァルキリーコネクト ▶ 6/8にニコニコ生放送にて1周年を記念した公式番組を放送！
 - ▶ 5/25-6/15、バーチャル・シンガー「初音ミク」とのコラボイベントを開催
 - ▶ 5/19に累計800万ダウンロードを突破
- ユニゾンリーグ ▶ 4/26-5/17、大人気TVアニメ「Re:ゼロから始める異世界生活」とのコラボイベントを開催
- ダービーインパクト ▶ リリースから4周年！5/19より記念キャンペーンを開催



ライフスタイルサポート

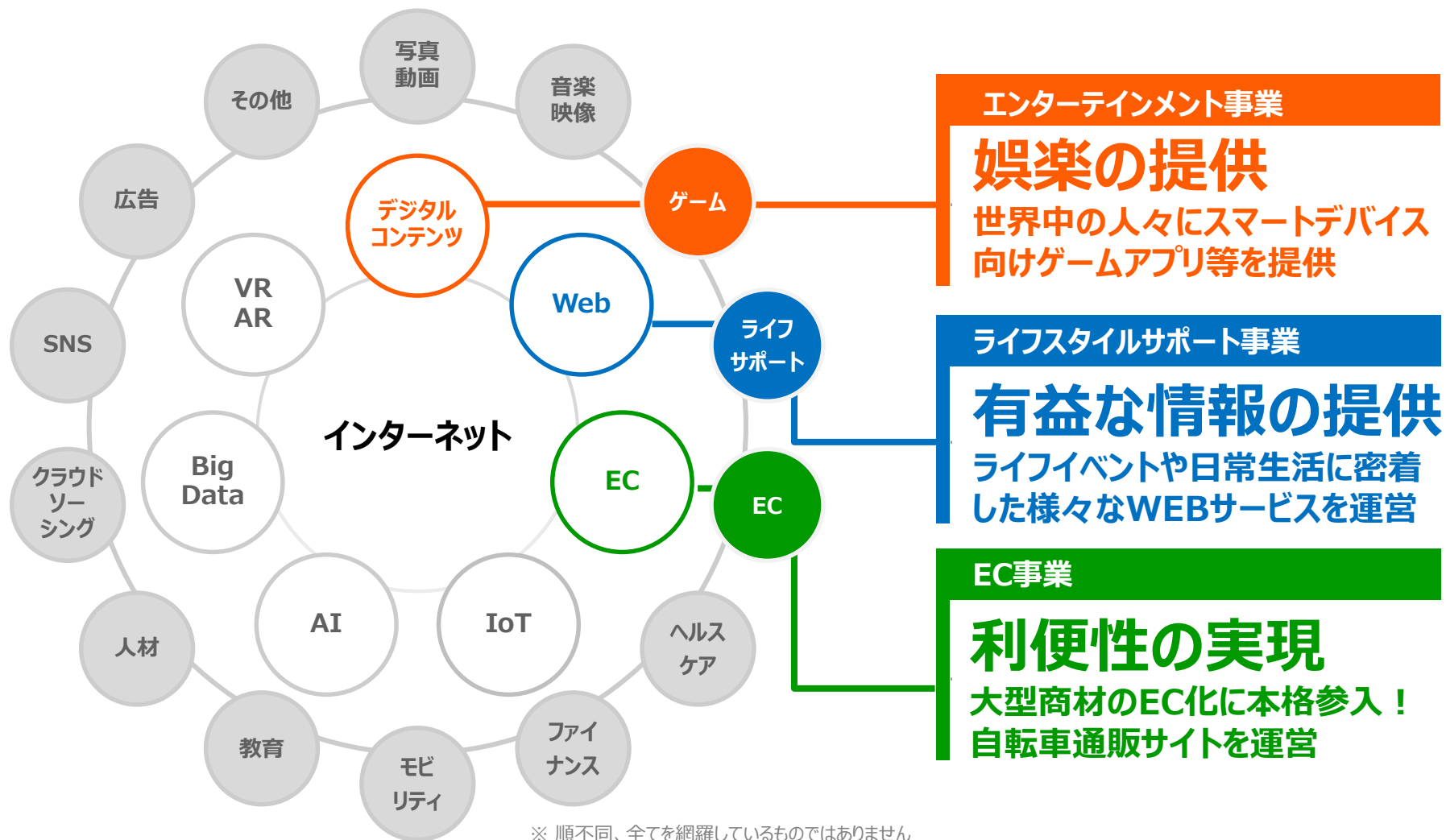
- ブライダル関連事業 ▶ 5/15よりフォトウエディング 京都版がスタート! 全国12店舗で事前打ち合わせが可能
- ▶ 5月に福岡・京都でウエディングイベント「ブライダルフェスタ by ハナユメ」を開催



5. 中長期的な展望

エイチームの目指す姿

今後もインターネットを使った様々なビジネス領域に挑戦し続けます！



事業の展望（数字を約束するものではありません）

全社

既存の三つの事業軸を基本としながらも、枠にとらわれず、様々な事業にチャレンジし、新たな収益源を創出します

エンターテインメント

- | 日本で企画・開発・運営、世界中に人々に娯楽を提供
 - 北米だけでなく、欧州市場、さらにアジア圏を狙う
- | 全世界に向けて月商10億円規模のアプリを複数創出
 - 英語版を中心に海外売上比率50%強を目指す

ライフスタイルサポート

- | 既存のメイン4サービスそれぞれ年商50億円規模に
 - 4サービスの合計で年商200億円～300億円規模をイメージ
- | 有益な情報を提供し、生活をより豊かに、より便利にするサービスを順次開拓

EC

- | 自転車通販No.1サイトを目指す
 - 3年以内に国内自転車販売台数の3%を目指す
- | まだEC化が進んでいない商材へ挑戦

APPENDIX A

会社概要

会社概要 (2017年4月30日現在)

商号	株式会社エイチーム
証券コード	東証1部 3662
設立	2000年2月29日
本社所在地	名古屋ビルヂング32F
代表取締役社長	林 高生
業種	情報・通信
セクター	ゲーム・インターネット・EC
決算期	7月末
連結子会社数	5社 (国内4社、海外1社)
連結人員数	647名 (役員、アルバイトを除く)
単元株式数	100株



名古屋ビルヂング



本社受付



梅田阪急ビル



品川イーストタワー

事業セグメント



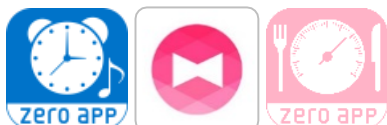
エンターテインメント

娯楽の提供

ゲームアプリ



ツールアプリ



ライフスタイルサポート

有益な情報の提供

引越し関連事業



自動車関連事業



ブライダル関連事業



金融メディア事業



EC

利便性の実現



自転車Eコマース



エンターテインメント事業 主要ゲーム&ツールアプリ

Game Apps

ミッドコア RPG (ロールプレイングゲーム)



放課後
ガールズドライブ



ヴァルキリーコネクト



エニゾンリーグ



レギオンウォー



ダークサマナー

アクション



三国大戦スマッシュ!

シミュレーション



ダービーインパクト

パズル



ポンゴコンボ

麻雀



麻雀 雷神 - Rising -

公式サイト



エターナルゾーン



ミリオンヴァーサス

Tool Apps

SNS



ジャム

スマホ着せ替え



[+]HOME

ZeoApp シリーズ (無料で使える便利ツール)



快眠サイクル
時計



楽々
カロリー管理



アイトレ3D



3分
フィットネス



さくさく
英単語



きせかえ
ミラー

ライフスタイルサポート事業 主要サービス

引越し 関連事業



引越し比較・予約サイト

- 一度の入力で最大10社の引越し業者から見積を取得
- 提携引越し業者数は全国250社以上
- 業界シェアトップ

自動車 関連事業



車査定・車買取サイト

- 一度の入力で最大10社の買取り業者から見積を取得
- 厳正な基準を満たした一流業者と提携
- 業界シェアトップ

ブライダル 関連事業



結婚式場情報サイト

- 全国500以上の結婚式場から会場をご紹介
- ハナユメ特典を使って質の高い結婚式を「お得」に実現
- プロの専任アドバイザーが常駐する実店舗も展開

金融 メディア 事業



キャッシング・カードローン
総合検索サイト

- 厳選した大手銀行、消費者金融のサービスを徹底比較
- 金利が低い・無利息期間あり・即日融資・収入証明不要など、希望条件に合うサービスを容易に検索

女性向け ヘルスケア 事業



女性向け生理日予測
・体調管理アプリ

- 無料で生理日・排卵日が予測できるスマホアプリ
- わかりやすいグラフで基礎体温や体重も楽々管理
- 生理・妊娠・避妊から美容・健康まで匿名で相談も可能

EC事業

自転車 EC

cyma -サイマ-
life & discovery

自転車通販サイト
「サイマ」

- 取扱い自転車200種類以上
- 専属整備士が整備、すぐに乗れる状態で自宅まで配送
- 日本最大級の自転車通販サイト



cyma -サイマ-
life & discovery

シティサイクル	折りたたみ自転車	ミニベロ (小径車)
スポーツ車	電動自転車	こども用自転車

さらに → **全品国内整備**
国内自社整備工場からお届け

資格を持つ **整備士**
による組立・品質チェック

自転車全品 **送料無料**
ご自宅までお届け致します

店舗以上の安心を
1年間のパンク修理保証&ロードサービスつき

全国の自転車店で受けられる**パンク修理保証つき!**
【お家でパンクCARE (ケア)】

4つの修理を保証します

パンク修理 (チューブ交換/空気入れ)	ブレーキ修理
チェーン修理	異音の解決

すべて自社整備工場からお届けしています 常時10000台以上の自社在庫を保有
だから価格もお買い得!

APPENDIX B

主な経営指標

P/L (FY2015 Q3 - FY2017 Q3)

(単位：百万円)

	FY2015		FY2016				FY2017		
	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3
売上高	4,407	4,563	4,610	5,420	6,178	6,757	7,136	8,147	9,906
Q/Q 増減率 (%)	+20.6	+3.5	+1.0	+17.6	+14.0	+9.4	+5.6	+14.2	+21.6
エンターテインメント事業	2,051	2,464	2,331	3,173	3,196	3,857	4,089	4,886	5,200
ライフスタイルサポート事業	2,240	1,961	2,065	2,064	2,550	2,513	2,652	2,952	3,990
EC事業	115	137	214	182	431	385	393	308	715
売上原価	615	718	763	825	987	1,038	1,105	1,221	1,686
原価率 (%)	14.0	15.8	16.6	15.2	16.0	15.4	15.5	15.0	17.0
販売管理費	3,173	3,399	3,326	4,450	4,392	4,969	5,737	6,196	6,472
販売管理費率 (%)	72.0	74.5	72.1	82.1	71.1	73.6	80.4	76.1	65.3
費用総額 (売上原価+販売管理費)	3,789	4,118	4,089	5,276	5,380	6,008	6,843	7,417	8,158
人件費・採用費	695	736	745	805	814	884	872	935	931
広告宣伝費	1,903	1,955	1,817	2,326	2,433	2,758	3,432	3,551	3,623
エンターテインメント事業	567	717	493	1,030	947	1,276	1,746	1,700	1,220
ライフスタイルサポート事業	1,295	1,154	1,218	1,184	1,368	1,338	1,547	1,728	2,230
EC事業	15	21	43	48	50	79	70	62	117
支払手数料等	671	869	841	1,171	1,177	1,401	1,468	1,779	2,051
外注・サーバー費	197	235	257	267	275	235	254	297	315
オフィス賃料	105	111	138	235	177	177	178	218	238
その他費用	215	209	289	470	501	551	636	634	997
営業利益	618	445	520	144	798	748	293	729	1,748
Q/Q 増減率 (%)	+15.7	-28.0	+17.0	-72.2	+452.0	-6.3	-60.8	+148.5	+139.7
エンターテインメント事業	314	407	549	440	601	706	302	807	1,440
ライフスタイルサポート事業	526	349	363	294	554	425	369	326	715
EC事業	-12	-39	-43	-62	-23	-43	-34	-46	-65
営業利益率 (%)	14.0	9.8	11.3	2.7	12.9	11.1	4.1	9.0	17.6
経常利益	650	452	493	112	751	736	292	778	1,738
親会社株主に帰属する四半期純利益	401	278	291	17	479	504	138	537	1,162

P/L (FY2011 - FY2016)

(単位：百万円)

	FY2011	FY2012	FY2013	FY2014	FY2015	FY2016	Y/Y (%)
売上高	4,064	6,379	10,989	12,036	15,828	22,967	+45.1
Y/Y 増減率 (%)	15.5	57.0	72.3	9.5	31.5	45.1	-
エンターテインメント事業	2,499	3,278	6,632	6,169	7,914	12,559	+58.7
ライフスタイルサポート事業	1,564	3,100	4,357	5,866	7,914	10,408	+31.5
売上原価	906	927	1,392	2,132	2,389	3,615	+51.3
原価率 (%)	22.3	14.5	12.7	17.7	15.1	15.7	+0.6
販売管理費	2,709	4,381	7,880	8,451	11,351	17,139	+51.0
販売管理費率 (%)	66.7	68.7	71.7	70.2	71.7	74.6	+2.9
費用総額 (売上原価+販売管理費)	3,615	5,309	9,272	10,583	13,740	20,755	+51.0
人件費・採用費	1,297	1,540	2,083	2,638	2,816	3,250	+16.1
広告宣伝費	1,035	2,331	4,310	4,279	6,430	9,335	+45.2
エンターテインメント事業	125	399	1,571	789	1,651	3,748	+126.9
ライフスタイルサポート事業	907	1,914	2,673	3,431	4,640	5,330	+14.9
支払手数料等	530	624	1,600	1,737	2,586	4,592	+77.6
外注・サーバー費	218	250	528	826	785	1,035	+31.8
オフィス賃料	151	190	337	420	433	728	+67.8
その他 (費用総額-上記費用)	383	371	411	682	706	1,812	+156.6
営業利益	448	1,070	1,717	1,452	2,087	2,212	+6.0
Y/Y 増減率 (%)	82.7	138.5	60.4	-15.4	43.8	6.0	-
エンターテインメント事業	705	1,126	1,866	1,409	1,770	2,297	+29.7
ライフスタイルサポート事業	178	539	632	805	1,183	1,464	+23.7
営業利益率 (%)	11.0	16.8	15.6	12.1	13.2	9.6	-3.6
経常利益	446	1,047	1,718	1,470	2,164	2,094	-3.2
税引前当期純利益	435	1,008	1,688	1,364	2,091	1,858	-11.2
親会社株主に帰属する当期純利益	258	590	1,042	807	1,362	1,292	-5.1

※当社はFY2013 Q3より連結財務諸表を作成しております。なお、連結では当社が新設し、既存事業をそれぞれ承継させた100%子会社3社を範囲に含めたものでありますため、FY2011及びFY2012の財務諸表数値を含め、連結財務データを記載しております。

B/S (FY2011 - FY2016)

(単位：百万円)

	FY2011	FY2012	FY2013	FY2014	FY2015	FY2016
資産の部						
流動資産	1,340	2,709	3,760	4,034	6,334	6,918
現預金	553	1,339	1,944	2,217	3,097	3,505
固定資産	460	443	881	1,470	1,322	2,668
有形固定資産	40	45	102	120	125	1,321
無形固定資産	159	120	410	355	460	622
投資その他の資産	261	277	367	994	736	724
資産合計	1,801	3,153	4,641	5,504	7,656	9,586
負債の部						
流動負債	657	1,153	1,136	1,305	3,648	4,127
固定負債	105	0	0	0	0	387
負債合計	763	1,153	1,136	1,305	3,648	4,514
有利子負債	270	100	0	0	1,700	1,166
純資産の部						
株主資本	1,038	1,999	3,500	4,130	3,900	4,971
自己株式	0	0	0	0	-1,403	-1,222
新株予約権	0	0	5	67	108	100
純資産合計	1,038	1,999	3,505	4,198	4,008	5,072
負債・純資産合計	1,801	3,153	4,641	5,504	7,656	9,586

※当社はFY2013 Q3より連結財務諸表を作成しております。なお、連結では当社が新設し、既存事業をそれぞれ承継させた100%子会社3社を範囲に含めたものでありますため、FY2011及びFY2012の財務諸表数値を含め、連結財務データを記載しております。

その他経営指標 (FY2011 - FY2016)

	FY2011	FY2012	FY2013	FY2014	FY2015	FY2016
発行済株式総数 (株)	16,050,000	18,393,000	19,195,000	19,349,200	19,405,600	19,450,000
自己株式数 (株)	0	0	0	0	580,020	574,020
期中平均株式数 (株)	16,050,000	16,882,352	18,933,262	19,255,641	19,310,191	18,846,317
EPS (1株当たり当期純利益、円)	16.09	34.99	55.04	41.96	70.54	68.58
EPS増減率 (%)	-	117.5	57.3	-23.8	45.6	-2.8
ROA (総資産経常利益率、%)	25.9	42.3	44.1	29.0	32.9	24.3
1株当たり純資産 (円)	64.7	108.7	182.4	213.5	207.2	263.4
1株当たり配当金額 (円)	0.00	0.00	10.61	10.00	12.50	12.50
中間配当額 (円)	0.00	0.00	5.00	5.00	5.00	5.00
配当総額 (百万円)	0.00	0.00	203	192	238	239
配当性向 (%)	0	0	19.3	23.8	17.7	18.2
株主資本比率 (%)	57.6	63.4	75.4	75.0	50.9	51.9
自己資本比率 (%)	57.6	63.4	75.4	75.1	50.9	51.9
ROE (自己資本当期純利益率、%)	28.4	38.9	37.9	21.2	33.9	29.1
ROIC (=①÷②、%)	20.3	29.9	30.3	20.8	21.0	25.1
①税引き後営業利益 (百万円)	266	626	1,059	859	1,178	1,539
②運転資本 (=③+④、百万円)	1,308	2,099	3,500	4,130	5,600	6,137
③株主資本 (百万円)	1,038	1,999	3,500	4,130	3,900	4,971
④有利子負債 (百万円)	270	100	0	0	1,700	1,166

※当社は2011年10月27日に1:100、2012/06/01に1:3、2015/05/01に1:2の割合をもって株式分割を行っております。このため、上記にはFY2011の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たりの金額を算定しております。従いまして、上記には過去に当社が発表した決算書類と異なる数値が一部含まれます。

「みんなで幸せになれる会社にする事」

「今から100年続く会社にする事」



本発表において提供される資料並びに情報は、いわゆる「見通し情報（forward-looking statements）」を含みます。これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでいます。それらリスクや不確実性には、一般的な業界並びに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。